

## シンガポールと日本の専門学科高校カリキュラムの比較

- 樋田大二郎（聖心女子大学） 岩木秀夫（日本女子大学）  
 耳塚寛明（お茶の水女子大学） 荻谷剛彦（東京大学）  
 大多和直樹（東京大学） 堀健志（東京大学）  
 金子真理子（東京学芸大学） 荒川葉（お茶の水女子大学大学院）  
 Sim Choon Kiat（東京大学大学院）

## 1. 本研究の課題

本報告では高卒無業者の問題、高校生の学校不適応の問題に対して日本の高校の「授業」または「学力」の有り様からアプローチしたい。

「仕事についたときに、すぐに役に立つ知識や技術（日本 48.9%、シンガポール 90.1%）」

「科学技術的な知識（日本 16.7%、シンガポール 71.5%）」

「将来の職業生活についての見通し（日本 48.4%、シンガポール 79.4%）」

表1は、は、学校階層上の地位が低い専門学科の高校生が授業で身についたと答えた内容の日本とシンガポールの比較である。

日本の高校新卒者の採用では、訓練可能性や人物が重視されてきた。

「部活動、それも集団競技をしていると就職に有利になる。」この言葉はおよそ20年前に高校生の進路形成に関する調査を行った時に、就職者の多い普通科高校の進路指導担当の教員から聞いた言葉である。高卒者の採用に際しては即戦力という観点よりも人間性や訓練可能性（trainability）の観点が重視されてきたのである。日本はまた、高校と企業との間に長年に渡って生徒を送り出す／採用するという「実績関係」が成り立っている。企業内訓練を行い訓練可能性を重視する企業にとっては、入社試験の結果よりも高校3年間の行動の記録のほうが重要なのであった。

われわれの調査では、現在でも、部活動や生徒指導によって生徒の進路を開くことに力を入れている専門学科高校は少

なくない。

今回、われわれがシンガポールの技術教育校（ITE: Institute for Technical Education）を調査して分かったことの第一は、技術教育校では即戦力の教育を重視していることであった。われわれが訪問したITEには

- ・家庭電化製品のショー・ルームのような部屋があり、高校生が電化製品のシステムを勉強していた。

- ・コンビニのような購買部があり、リテリングを勉強している生徒が企画運営していた。

技術教育校関係者（技術教育校本部の役人）は、このあたりの事情について次のように答えている

**技術教育校は初職に対する教育を行う。しかし、今日、多くの企業が洗練されたシステムと機器を持っており、学校がすべてに対する準備を行うことは出来ない。そこで、技術教育校は就職先で新しい技術を取得できる教育を行っている。しかし、技術教育校は労働者に対する訓練と学習を行う生涯教育にも力を入れて行っている。生涯教育の学生はフルタイムの学生の2倍におよんでいる。また、技術教育校卒業生に対する、現在の技術分野、システム、機器についての、技能向上や更新のための短期コースも提供している。**

また、教育技術校の勉強を就職後と結びつける方法としては次のように述べている。

**（幅広いカリキュラム開発プロセスに位置づけて）技術教育校が資格＝カリキ**

キュラムを開発する時は、新しいコースを開発する時も既存のコースを見直す時も産業界に協力を依頼する。産業人が会議や委員会に招かれ、新しいコースを開発したり、既存のコースの内容を産業の要請との適合性から見直したりする。産業界との提携は様々な段階でなされる。このことによって、コースの内容が有効で産業の要請に応えたものとなる。

技術教育校はまた、技術教育校のコースが産業界の要請に合致しているか、すなわち生徒が適切に訓練され、コース終了時に職に就く能力があることを確実に

するために、卒業生の就職率の他、卒業生の雇用者に対して、職種、技術力、社会性などについての調査を行う。

本報告では、即戦力か訓練可能性かに焦点を当てながら、日本とシンガポールの専門学科高校に対する訪問面接調査および、シンガポールの専門学科高校の生徒に対する訪問面接調査で得られた資料をもとに、冒頭にあげたような日本の専門学科高校の生徒とシンガポールの高校生が授業で身につけたものがどうして／どのように異なるのかを検討したい。

表1. 授業で身に付けたもの

	日本		シンガポール	
	専門 中位	専門 下位	High ITE	Low ITE
	111	221	284	275
仕事についたときに、すぐに役に立つ知識や技術	73.9	48.9	90.0	90.1
論理的に考えたり、説明したりする力	29.7	17.6	85.7	85.9
科学技術的な知識	14.4	16.7	76.0	71.5
経済や政治、社会のしくみに対する理解	41.4	21.3	57.8	60.1
将来の職業生活についての見通し	54.9	48.4	81.5	79.4

数字(%)は「身につけている」と「まあ身につけている」の合計

Academic ability / Skills to be exam-smart / Knowledge and skills useful for future job / Able to think and reason logically / Scientific knowledge and technologies / Understanding of economic, political and social structures / Civic-mindedness  
/ Able to see prospects of future job / Able to live a life that I deem fit